

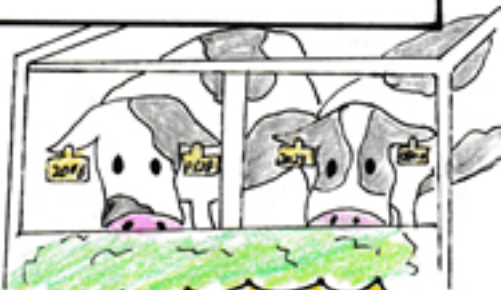
# 畜産イメージアップ

松尾 暁彦

牛一頭あたり1haの放牧地で飼育。畜産をサブワークとして取り入れており、去勢や除角をしないストレスフリーな飼育を行っていた。

畜産業の違い

集約農業なので限られた条件の中、牛を育てるため、時間やお金、労働力が必要となっている。飼料も輸入に頼っている現状。



しかし両国とも同じ課題があったそれは...

後継者不足

なぜ? ・若い人たちは、都心に行ってしまう。  
・3K(汚い、きつい、稼げない)のイメージがある。  
など...

どうすれば同世代の人が畜産に興味をもってくれるか?

AIなどを使った農業体験など誰にでもできるような教育の場を設ける。実際に<sup>EU</sup>ではVR搾乳体験を行っていた。

農業を学んでいる若い人たちが「畜産の魅力」をSNSで発信する。また全国の畜産を学んでいる人たちの交流の場を増やす!!

農業の重要性を国をあげて、消費者に伝える。食料として売れしとして、何より経済を支えていることをもっと知ることが大事

私は畜産アンバサダーとして畜産の良さを拡散する!!

